

同志社大学フォーミュラプロジェクト
支援者様

令和6年12月4日

同志社大学フォーミュラプロジェクト
11月活動報告

謹啓 初冬の候、皆様におかれましては、ますますのご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のご支援、ご配慮を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、この度は同志社大学フォーミュラプロジェクト(以下 DUFPP)の11月の活動についてご報告させていただきたく存じます。

当プロジェクトは、スポンサー企業様・個人支援者様、先生方、OBOGの皆様方の寛大なご支援、並びにご協力により活動を進めさせていただいております。多大なるご支援を快くくださいます皆様方に深く御礼申し上げます。

現在は、今年度の大会でより良い成績を得られる車両製作に向け、設計を行っております。今後とも何卒、当プロジェクトをよろしく願い申し上げます。



図1.京田辺市民祭りの車両展示の様子-1

D.U.F.P

Doshisha University Formula Project

1. スポンサー様



図2. スポンサー様

D.U.F.P

Doshisha University Formula Project

日野自動車株式会社様

日野自動車株式会社様より、講習会の開催及び活動資金のご提供をしていただきました。講習会では、本学までお越しいただき、日々の業務からダカールラリーへの取り組みまで様々なお話をいただきました。この度は、弊チームを支援していただき誠にありがとうございます。今後ともよろしくお願いいたします。



図 3.講習会の様子

2. 活動報告

京田辺市民祭りでの車両展示

11月2日(土)、3日(日)に本学の構内で開催されました、京田辺市民祭りにて、昨年度製作した車両の展示を行いました。幅広い年代の方々が展示に興味を持ってくださり、とても嬉しく感じました。このような貴重な機会を提供してくださった、株式会社ヒロミツ製作所様の皆様に深く御礼申し上げます。



図 4.京田辺市民祭りの車両展示の様子-2

D.U.F.P

Doshisha University Formula Project

静的交流会への参加

11月23日(土)に名古屋大学東山キャンパスにて開催されました、静的交流会に参加いたしました。静的交流会では、学生フォーミュラ日本大会のレベルアップを図ることを目的として、デザイン審査及びコスト審査、プレゼン審査といった静的審査に関する意見交換が行われました。弊チームからは20名ほどが参加し、デザイン分科会及びコスト分科会では、それぞれM1の野口とM2の宮谷が発表を行いました。エンジニアの方々及び他大学のチームメンバーの方の発表や、分科会後の交流会では、弊チームに何が足りないのかを認識することができました。今後の活動に生かしていきたいと思っております。



図 5.デザイン分科会での発表の様子



図 6.コスト分科会での発表の様子

DR2(デザインレビュー1)の開催

11月24日(日)にオンラインと現地開催の併用でDR2を行いました。お忙しい中、ご参加いただいた皆様、誠にありがとうございました。

弊チームでは年間3回のDRを行っており、スケジュールや設計方針、設計の妥当性など、車両完成におけるの必須事項を多面的に評価・講評をいただいております。

今年度のDR2では、25project 始動時に決定いたしました車両コンセプト、「車両性能、

D.U.F.P

Doshisha University Formula Project

ドライバビリティ、信頼性を兼ね備えた車両」という開発目標を基に、各班が設定した要求性能や設計方針の妥当性、また各 부품の基本設計の妥当性について、参加いただいた方に評価していただきました。

現在、各班において、アドバイザーの方々や、OB・OG の方々からいただいたご指摘を参考に、DR3 までの期間で検討すべき事項と設計のスケジュールを整理し、チーム全体で共有し、設計を進めております。DR3 では、各 부품の詳細設計の完成、オールアッセの完成を予定しております。



図 7.DR2の様子

3. 今後の活動予定

12月8日 オールアッセ会

12月14日 DR3

12月27日 設計凍結

4. 最後に

今年度の DR2 では、各班の設計やチーム全体のマネジメント面において様々な課題が浮き彫りとなりました。その後のミーティングで各班の進捗状況の確認を行い、スケジュールの見直しを行いました。現在、DR3 に向けて、各班が設計を進めており、設計期間の正念場を迎えていると感じております。設計初年度のメンバーが多いですが、メンバー同士のすり合わせをしっかりと行い、信頼性の高い車両を製作できるように努めていきたいと考えております。

スポンサー企業様はじめ、個人支援者様、先生方、OBOG の皆様方、ご支援・ご協力くださる皆様方に心より感謝申し上げます。2025 年度大会に向け、より良い車両の設計・製作に尽力いたしますので、今後とも何卒よろしく願いいたします。

D.U.F.P

Doshisha University Formula Project

文責
同志社大学フォーミュラプロジェクト(DUFP)
25project 総務部長・エンジン担当

岩下 莉緒 (Rio Iwashita)

〒610-0394
京都府京田辺市多々羅都谷 1-3 同志社大学

MAIL(チーム): 18dufp@gmail.com
MAIL(エンジン班): dufpengine@gmail.com
MAIL(個人): cguj4028@mail4.doshisha.ac.jp
ホームページ: <http://dufp.racing/>

D.U.F.P

Doshisha University Formula Project